

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園和田町	種別：保育所
代表者氏名：園長 高橋 則子	定員（利用人数）： 30（27）名
所在地：240-0065 横浜市保土ヶ谷区和田1-15-3	
TEL：045-332-2110	ホームページ：https://www.like-kn.co.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2007年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクアカデミー株式会社	
職員数	常勤職員： 10名 非常勤職員 6名
専門職員	施設長 1名 栄養士 2名
	保育士 10名 調理士 2名
	看護師 1名
施設・設備 の概要	（居室数） 7室
	（設備等） 事務室・給食室・保育室・調乳室・ 沐浴室・園庭・テラス

③理念・基本方針

こども理念	【のびやかに育て だいちの芽】
保育方針	みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛 （信頼・案礼・共感）
	●陽だまりのような保育園 ●地域と共に育つ保育園 ●子どもと共に輝いていける
保育園保育目標	<めざす子どもの姿>
	*自然を愛し、心身ともに健やかな子ども
	*自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども
	* {仲間} と関わり、人を思いやる子ども
	*自己を表現できる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ・園からは電車が見え、園児は楽しく見ている。園庭は線路沿いに位置して、砂遊びや、低月齢児はボール遊びを楽しむことが出来る。 ・商店街が近く、散歩などではよく出かけて、話をしたり挨拶をします。ハロウィンなどではいくつかのお店とはやり取りがあります。 ・少人数の園なので、アットホームな雰囲気、職員は全園児と関わり日々の様子が理解できています。 ・近隣の公園や散歩に出掛け、自然とふれあい、ルールのある遊びなどを行っています。
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月28日（契約日） ～ 2021年12月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（平成28年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

園内でのコミュニケーションを充実させ働きやすい職場環境作りに取り組んでいる
園長は職員からのヒアリングによってコミュニケーションを図ったり、勤務状況、休暇取得状況を月次管理して職員のワークライフバランスの実現にむけ取り組んでいる。今回行った訪問調査のヒアリングにおいても「職員同士のチームワークが良い」、「職員の間関係が良い」、「職員間のコミュニケーションがよく図られている」などの声が聞かれており、働きやすい職場環境になっていることがうかがえる。有給は取得できるよう職員がお互いに話し合ったり譲り合ったりに加え、日々の業務でも、話し合っただけで業務が行えるようにしている。

子どもの在園時間を考慮し、環境整備や保育内容に配慮している
長時間保育の子どもが多いことから、疲れがでないように一日を過ごすことを大切に考え、静と動のバランスを考慮し年齢や発達に応じて細やかに環境整備や保育内容に配慮をしている。小規模園であることから、担任以外の職員も子どもの様子を把握し対応することができるなど、クラスを超えて全体で子どもを見守る体制も整っている。

健康観察、健康教育により、子どもの健康管理に力を入れて取り組んでいる
保健衛生マニュアルに基づき、保育士による受け入れ時の健康観察、看護師の全クラスへの巡回によって子どもの健康状態の確認と把握に取り組んでおり、その日の健康状態や保護者からの健康相談等についてはミーティングにて全職員で共有する仕組みがある。年度毎に保健年間計画を作成し、時期にあった健康教育や留意点等が組み込まれ、健康教育の実施後には玄関掲示やブログにて様子を伝えている。また、健康に関する具体的な方針や取り組みについてはおたよりを配布し情報共有と保護者への理解と協力を促している。

◇改善を求められる点

中期計画と単年度計画は整合性を踏まえて推進することを目指している
法人理念や基本方針の実現に向けた中期計画を作成しており、単年度事業計画、年間指導計画、年間スケジュール等の中に落とし込み、日々の保育に取り組んでいる。中期計画に沿って単年度事業が円滑に推進することを目指しており、年初の職員会議において確認し合い、以降は主任やクラス担任、役割り分担に明示された各担当者の責務で実施され、基本的には月単位で進捗状況を振り返る流れとしている。年度末には総括を行い、次年度の計画策定につなげているが、さらに中期計画との整合性を踏まえて推進することを目指している。

園長は責任と役割に基づく行動をもとに園運営をリードすることを目指している
園長は本年4月に赴任したばかりであり、職員や保護者との連携を深め信頼関係の構築に力を入れている。また、園長の役割や責任は職務分掌に沿って、年初に提示した単年度事業計画や年間指導計画、年間スケジュールに沿った園運営を示唆することで自らの役割と責任を果たすことを目指している。また、個々の計画の成果の確認や反省は、期、月単位、行事終了後などに行ないながら計画達成に取り組んでいる。諸会議やミーティングなどを通じて職員とのコミュニケーションを図りながら、保育目標に沿って園運営をリードすることを目指している。

虐待や人権侵害についての理解をさらに深める取り組みについて検討している
運営法人作成のマニュアル「人権」に「虐待について」の項目があり、対応フローも示
されており、入社前の運営法人研修において全職員が虐待について学んでいる。職員に
対して虐待や人権侵害についての理解をさらに深めるための取り組みとして、園内にお
ける勉強会や研修への積極的な参加について検討している。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

ほとんどの職員が初めての受診でした。評価シートに合わせてグループを作り話し合い
を重ねてきました。日々の保育で理解できていることでも、文章に表すことの難しさが
ありました。話し合をする中で「中長期計画」の策定や園内研修の持ち方、地域に向け
た活動の取り組みなど、今後に向けての課題も見えてきました。
これから、課題を全職員で話し合いどのように進めていくか話し合いの機会をもってい
きたいと思います。
また、小規模保育園の良い所、職員の働きやすい環境が保てるように努力していきたい
です。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり